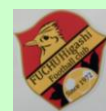


平成29年11月20日

風は東から



To be continued...

リーグ昇格は最終戦までお預け…
高校生活最後の戦いに全てを出す!!

リーグ昇格決定は最終戦(11/26) VS 駒大高 までお預け…

順位決定戦第二節は、葛飾野高校の粘り強い守備の前にドロー!!

台風 22 号の影響で先月末に予定されていた地区トップリーグ順位決定戦第二節 VS 葛飾野高校が 11 月 12 日(日)に行われました。お互い初戦を白星で飾り、この第二戦に勝ってリーグ昇格に王手をかけたいところです。対戦相手の葛飾野高校は 9 月に新チームに切り替わり、現在、新人戦に向けてチーム作りを進めています。三井監督二年目体制で、自慢の攻撃力に粘り強い守備が浸透し、着々と力を付けてきています。しかし、東高は、選手権敗退後も残りのリーグ戦のために三年生が残り、今まで通り TR&TRM を重ねてきました。11 月の三連休に行われた、日大鶴丘・東京実業・東大和南高校の新チームとの TRM も、上級生チームの力の差を見せつけ勝利し、この日も自信を持って敵地に乗り込みました。



＜地区トップリーグ順位決定戦第二節 VS 葛飾野高校 勝って王手をかけたかったが…＞

立ち上がりから東高が攻勢にゲームを進めます。この日、初スタメンに抜擢された柴田(3年)が、前線のポストプレーでボールを収めて時間を作り、緩急のリズム作りを演出。中央とサイドを上手く使いながらチャンスを作りますが、予想以上に葛飾野高校守備陣が粘り強く対応し、決定的なシュートもバーや相手の寄せが速くブロックされて、なかなかゴールが割れずに時間だけが経過していきます。時折、相手ツートップにリアクションからシュートまで持っていかれませんがゴールには至りません。前半は、この展開のまま終わると思った終了間際に、ゴール前のスクランブルから見事なシュートを決められて先制点を奪われます。後半は更に相手陣地で攻撃する時間が増えます。この日に勝って王手をかけたい東高が怒涛の攻撃を繰り返しますが、この日の葛飾野高校守備陣の集中力は途切れません。ここまで、ゴールを量産してきた東高自慢の攻撃陣も焦りからなのか自分でやるという強い気持ちからなのか、空回りする場面が目立ちました。

昨年度得点王が同点ゴール !!

後半30分にGK道本(3年)のFKから林田(3年)がタイミングよく抜け出し、同点ゴールを決めゲームを振り出しに戻します。その後も東高は、引き分けではなく勝ち点3を狙いに攻撃の手を弛めませんが、葛飾野高校の牙城を二度目は崩せずタイムアップ。結局、1-1のドローで終わり、地区トップリーグの連勝は途絶え、全勝優勝の夢は消えました。Tリーグ昇格決定は、最終戦(11月26日)に持ち越されました。

三年生にとって高校サッカーも遂に残り一試合となりました。地区トップリーグ順位決定戦の最終節では、高校生活の全てをぶつけて勝利を挽ぎ取り、地区トップリーグ優勝でTリーグ昇格を決定し、高校サッカーを有終の美で飾りいい形で締め括って欲しいと願っています。

七地区リーグ三部 全勝優勝を飾る !!

11月4日(土)、地区ユースリーグ三部最終戦は、優勝決定戦ともいふべき二位の立川国際高校(七勝一分け)との闘いとなりました。引き分け以上で優勝が決まる東高は、熱盛りキャプテン前田(3年)を中心にサテライトチーム主体で一年間闘いここまで八戦全勝!! 優勝するためには絶対に負けられない闘いでした。

ゲームは、立川国際高校の活きのいいFWに先制されるものの、主導権は東高が握り優位に進めます。

得点こそは一進一退の攻防が続きましたが、最後は <三部リーグ最終節は優勝決定戦に!!> 下間(3年)がゴールを決め3-2で勝利!! 地区ユースリーグ三部を全勝優勝で飾りました。



<After the Game>

11月11日(土)、選手権の決勝戦が駒沢陸上競技場で行われ、今年度の東京都代表は、関東一高(二年連続)と実践学園(今年度四冠)に決定しました。両チームとも、全国大会での活躍を期待するとともに、みんなで応援したいと思います。頑張ってください!!

今年も、この日は早朝練習をして、全員で決勝戦の観戦に出かけました。特に、選手権で敗れた国学院久我山高校がどのような闘いをするのか? 駒沢のピッチに立つためには何が足りないのか? 自分たちだったらどうだったのか? 今年はずっととは違った距離感でいろいろな思いを馳せながら子どもたちは観戦したことと思います。

さあ、地区トップリーグ最終戦!! 勝利(優勝)で締め括れるようラスト頑張ります!!



5



<選手権東京代表おめでとうございます!! 全国大会での奮闘を祈っています!!>